



2021年度「政策提言」の申し入れ 提出！（その3）

8項・品川再開発地区に文化創造施設を併設・誘致すること。

8項・別紙説明（抜粋）

都市再開発において平休の人口問題は、そのプロジェクトの成否を左右する問題として指摘されている。つまり、休日の集客対策が重要なのである。品川再開発においても、オフィス、ホテル、商業、コンベンション施設に加えて、上品なエンターテイメントに関する施設の併設・誘致を検討すべきである。その場合、「JR東日本の街」を意識したものとして、以下の諸点について検討すること。

- (1) ユネスコ(イコモス)からの警告を受け止め、国の史跡である「高輪築堤」を活用する。大宮の鉄道博物館から、1号機関車などを含む鉄道黎明期の所属品を移し、汐留の旧新橋停車場と併せて「鉄道博物館・明治館(仮称)」を設置する。
- (2) 「日本橋室町東地区開発」(COREDO室町)は、平成28年度土地活用モデル大賞を受賞した。とくに、敷地中央に位置する福德神社を囲む「福德の森」は、歴史とモダンが融合した空間として高く評価されている。そこで、品川再開発地区においても、新しい街の発展と安寧を祈る鎮守として、鉄道神社を遷宮ないし分祀して「鎮守の森」を造営する。

9項・「撮り鉄コミュニティ」を発展させ、

「JR東日本ファンクラブ(仮称)」を開設すること。

9項・別紙説明（抜粋）

鉄道ファンのみなさまが当社にとって重要な顧客であることが、コロナ禍によってあらためて認識された。すでに、JR東日本スタートアップとミュー株式会社による「撮り鉄コミュニティ」が実施されているが、これをさらに発展させ、「JR東日本ファンクラブ(仮称)」を開設する。

- (1) 東武鉄道の先事例「東武鉄道公式ファンクラブ」などを参考に、魅力あるコンテンツの充実、会員の特典を増やすなどして有料会員を増やす。有料イベント等への誘致を行い増収につなげる。
- (2) 写真撮影時の注意喚起等を行い、安全に趣味を楽しむための啓蒙活動を実施する。
- (3) すでに「JRE MALL」で、鉄道部品やグッズの販売が行われているが、各総合車両センターとの連携を強化し商品供給の充実を図る。
- (4) 私鉄各社(東急電鉄、東武鉄道、小田急電鉄、相模鉄道など)の系列ホテルでは、客室に運転シミュレーターを設置して宿泊プランを販売しているが、当社ホテルグループにおいても検討する。

10項・JRE生活圏の拡大を図るため、

「JRE POINT」のインセンティブを増やすこと。

10項・別紙説明（抜粋）

今後、社員がセールスマンとなって「JRE POINT」をアピールするために、自らが実際に使うことで商品の良さを実感する必要がある。

JRE生活圏の拡大をすべての社員が担えるよう、啓発の契機とする。

11項・「ESG経営」の観点から

「NewDays」の期限切れ間近な商品の有効活用をすること。

11項・別紙説明（抜粋）

近年、環境問題や廃棄ロスへの関心が社会的に高まっている。期限切れ間近な商品の割引をしている店舗もあるが「NewDays」において大々的に展開する。